

新興国レポート

# 中国人民元が堅調に推移

## 秋の党大会を控えた中国当局の人民元安定策効果が表れる

- ▶ 中国人民元が対米ドルで堅調に推移。年初からの上昇率は6%を記録。10月の共産党大会を控えた中国当局の人民元高誘導や比較的好調な中国景気等が背景に。
- ▶ 人民元の急激な上昇は輸出の重荷等になる可能性があるも、党大会が実施される秋口頃まで人民元高・米ドル安が続くものと判断される。

- 人民元が対米ドルで堅調に推移しています。直近高値からはやや下落していますが、9月13日時点では約1年4ヵ月ぶりの高さとなっており、年初からの上昇率は6%を記録しています。
- その背景には、10月の共産党大会を控えた中国当局による人民元高誘導が大きく影響しているとみられています。人民元は中国人民銀行（中央銀行）が毎日算出・公表する「基準値」（対米ドル）をもとに売買が行われます。1日当りの変動幅は上下2%とされています。中国人民銀行は5月中旬に「基準値」の算出方法を変更しました。以前は「前日終値」とドル、ユーロ、円等で作る「通貨バスケット」の2つを参考に決めていましたが、5月の変更では当局の裁量の余地を大きくしました。変更後の「基準値」は、前日の人民元（対米ドル）レートを上回る水準に設定されるケースが多くみられており、これが人民元高をもたらす大きな要因になったと考えられます。中国企業による海外企業買収の審査厳格化等、人民元安につながる資本流出の抑制策も一定の影響を与えたものと思われる。1～7月累計の対外（中国→海外）直接投資額は572億米ドルと前年同期から4割強減少しています。人事等を巡るトランプ政権の混乱や、米追加利上げ観測の後退等を背景に主要通貨に対して米ドル安が進んだことも人民元を押し上げました。4～6月期の実質国内総生産（GDP）が前年同期比6.9%増と好調さを維持したこと、中国国家统计局や中国メディアの財新が発表する製造業購買担当者景気指数（PMI）が8月時点で景況判断の節目とされる50を上回って推移していること等、堅調な中国経済も人民元を支えているものと思われる。
- 人民元の急激な上昇は輸出の悪化等、経済の下押し圧力となる可能性もあります。しかし、党大会を控えて中国当局は人民元の安定化を図るものと思われること、利上げ観測の後退等で米ドルが弱含みで推移するとみられること等から判断して、秋口あたりまで人民元は対米ドルで堅調な動きを続けるものと思われる。

(図表1) 人民元（対米ドル）相場



(図表2) 対外（中国→海外）直接投資額

